

( 2024 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 ( 楽 只 児 童 館 )

	活動名	実施回数	参 加 人 数												内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計			
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
子 ど も 育 成 機 能	避難訓練	12	0	36	500	0	78	0	0	0	38	21	673	災害時に備えた避難ルートや身の守り方を実際に行動して確認する。 1年生を迎える会として船岡山公園でみんで鬼ごっこやボール遊び、遊具遊びを楽しむ。	訓練しておくことと落ち着いて行動できる。 異年齢で仲良く一緒に遊べる取り組み。	
	船岡山公園へ行こう	1	0	0	40	2	12	0	0	0	0	3	57	古紙や牛乳パックなどの廃材を活用して工作したり花壇に植物を植えて育てる活動を行う。	環境問題を楽しく学べる活動。	
	エコ活動	12	0	18	262	14	104	0	0	0	18	21	437	佛教大学の学生との連携事業。冷却バックづくりなどを通して科学の仕組みを知りながら遊ぶ。	地域人材を活用し、子どもが楽しく科学を学べる。	
	科学あそび	1	0	1	23	2	5	0	0	0	0	6	1	38	学生サクルの方に協力してもらいドッジビーをしたり学生さんによるアルティメットスポーツを教えてもらう機会としている。	暑い時期は外で取組むことが難しくなる。
	アルティメット	8	0	5	74	16	43	0	0	0	16	0	154	交通安全のお話を実施。警察署の方に来ていただき通学時の安全指導、防犯指導を低学年向けに行う。	交通安全の知識を再確認する機会になる。	
	交通安全のお話	1	0	2	31	0	0	0	0	0	0	0	0	33	しゅぼんアートと工作（高学年と低学年向けに分けて）を行った。	工作が好きな子の作ってみたいを形にする。
	工作クラブ	9	4	4	84	0	28	6	4	0	21	5	142	児童館でプールを設置して水遊びを楽しむ。	暑い時期でも体を動かし楽しく遊べる。	
	プールウィーク	4	4	5	113	4	54	6	4	0	8	4	202	子どもたちがしたい運動遊びを決めて体育館で元気いっぱい体を動かして遊ぶ。	子どもがやりたいを形にする取組み。	
	イベントクラブ	12	0	0	0	36	129	0	0	0	6	0	171	子どもたちがしたい運動遊びを決めて体育館で元気いっぱい体を動かして遊ぶ。	夏場も室内で安全に体を動かして遊べる。	
	体育館遊び	43		129	559	85	215	31	0	0	86	43	1148	小学生と乳幼児さんの交流活動として夏あそびを小学生が企画して乳幼児さんをおもてなししながら交流する。	小学生が自分で遊びを企画して見せ当番をすることで楽しみながら成功体験を積める。	
	基 本	なにかよし夏あそび	1	22	0	37	2	4	2	6	0	3	1	77	北文化会館でダンス発表や遊びコーナーを体験しながら交流する。	他館の児童館の発表を見て良い刺激を受けた。
		ブロックやんちゃフェスタ2024	1	0	6	8	2	7	0	0	0	4	1	28	職員が指導しながら子どもたちと一緒にフラダンスを踊り異文化に触れる。	地域で発表することで目標をもって熱心に取り組む。
		フラダンスクラブ	30	0	0	153	13	126	0	3	0	2	0	297	楽只学区の独居老人の方へお弁当を子どもたちと配達に行く。	平日に配りに行くことが難しいため参加メンバーが土曜に参加できるメンバーに限られがちである。
		楽ちゃんキッズデリ（チラシ配り含む）	4	0	0	40	3	14	5	26	0	5	0	93	児童館で駄菓子屋さんを催しておやつを子どもたちが選んでお買い物をする。	普段とは違う自分たちで選ぶ楽しみがある。
		だがし屋さん	1	0	3	53	2	21	2	0	0	3	1	85	共生館内を回って、お菓子をもらうイベント。	地域の方と連携した活動になっている。
		ハロウィンパーティー	1	2	1	35	1	13	0	2	0	2	1	57	船岡山で行われる地域行事にステージ発表で出演したり、ゲームコーナーであそびを体験したりする。	夏ならではの遊びで子どもに人気である。
		ウォーターガン	1	0	0	25	1	16	1	0	0	3	0	46	保護者や児童館の子どもによる模擬店、東部まち美化によるゲームコーナー、アーティストさんの工作コーナー設け、「児童館まつり」を実施した。	たくさんの方が利用され、児童館を知ってもらえる良い機会。
		ふれあい児童館まつり	1	15	27	11	13	6	8	44	0	10	0	134	オハナリゾートでのスキー＆雪遊び体験をする。	地域の中高生にも魅力的な取り組み。
		スキー＆雪遊び体験	1	0	0	24	0	10	3	3	0	7	0	47	地域の方々の前で子どもたちによる「児童館クイズ」を三択問題形式で実施した。「幸せなら手を叩こう」を子どもたちと一緒にうたう交流をした。	地域の方に子どもたちが何ができるか考えるきっかけにもなる取り組み。
		いきいき市民活動祭	1	0	1	10	0	3	0	0	0	0	0	14	佛教大学の車いすバスケット部の方に指導してもらいながら地域の方も交えて小学生の子どもたちも一緒に「車いすバスケット」を体験した。	「車いすバスケット」を実践しながら学べて子どもたちは大興奮していた。パラスポーツに関心をもてた。
	パラスポーツの集い	1		2	14	0	5	0	0	0	1	0	22	アーティスト三枝さんの指導の下、トロアオイの栽培や紙漉き体験を行う。	保護者の方も関心をもって参加があるのが良い。	
	紙漉き体験	6	0	2	19	3	22	0	7	0	3	0	56	若狭の海での遊泳やシュノーケリングを通した自然体験活動。	安全に取り組むための人数確保が課題。	
	若狭の海へ行こう	1	0	0	29	0	20	7	0	0	20	0	76	子どもたちが書きたい文字を募集して、大きな和紙に一つの書道アート作品を作って玄関に飾る。	書道アートにしたことで書に興味を持つ。	
	書初め	1	0	0	31	1	12	0	0	0	1	0	45	佛教大学で行われるタグラグビーでの交流イベントに参加する。	朝鮮初級学校のお友だちとも交流できて良い機会だった。	
	タグラグビーdeユアアイ	1	0	2	6	0	2	0	0	0	1	0	11	タグラグビーやミニゲームをしながタグラグビーの体験を行う。	なじみのない子に興味をもってもらいやすいアイスブレイクが必要である。	
	タグラグビーであそぼう	5	0	3	30	2	25	0	0	0	5	0	65			
	合 計	160	43	247	2211	202	974	65	95	0	272	99	4208			
推 進 活 動																
	合 計															
子ども育成機能 合 計																

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

( 2024 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 ( 楽 只 ) 児 童 館

活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計			
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
(1)①クラブ活動 ひよこクラブ	37	227										8	448	登録制乳幼児クラブ。満1歳以上対象。制作、運動遊びなど就園前の親と子のクラブとなっている。	就学前のこどもが同世代と関わる機会になる他、保護者の子育て仲間を輪を広げることができた。
(1)②乳幼児の広場活動 あそびの広場 のびのび かしの木広場 ベビーダンス	12 12 10	23 21 43										1 20 3	46 41 88	こどもは児童館のおもちゃで遊び、随時育児相談も行う。 児童館の大型遊具を出して体を動かして遊べる取り組み。 近隣のつどいの広場による出張保育事業。 講師指導の下、乳幼児を抱っこし体を動かす取り組み。	ゆったりとした時間の中で育児の悩みなどを聞き取ることが出来た。 地域の子育て家庭がつどいの広場、児童館双方を知るきっかけとなった
手形足形アート	1	1										1	2	季節のイベントごとの手形アートを作成。	参加申込者を考慮した結果、今後は地域の子育て家庭（低月齢）にとってよりニーズの高い取り組みを検討する必要があるという結論に至つてはなかなかできない・記念に残せる製作はニーズが高い。保護者の息抜きの場ともなった。
服のお譲り会	3	9										9	19	北区はぐみ局との連携した取り組み。	ニーズの高い取り組みであり、児童館を知ってもらうことにも繋げられ
ラッコひろば	3	27										32	59	楽只学区民生児童委員が主催する地域子育てサロン。楽只保育所との共催。	地域住民と共に行事を企画することで地域のネットワーク強化にも繋がった。
えがおパーク	2	28										24	57	楽只保育所との共催。言語聴覚士へ発達相談ができる取り組み。	支援の必要な家庭を専門機関につなげるきっかけづくりとなった。
子育て講座	2	4										4	8	保健師や保育士によるイヤイヤ期の対応・歯についての子育て講座	専門家に気軽に相談できる場として機能した。
ヨガでリラックス	1	6										5	11	ヨガ講師の指導の下、体のリフレッシュヨガ。子育て支援活動。	保護者の息抜きの場となった。
(2)家族参加を促す活動 なかよし夏あそび	1	22	0	37	2	4	2	6	0	3	1	77	77	保育所年長児と地域の乳幼児親子を招待し、児童館でゲームコーナー等の夏遊び。	異年齢交流を促すほか、保護者が子どもの育ちの見通しをもつきっかけ作りとなった。
ふれあい児童館まつり	1	15	27	11	13	6	8	44	0	10	0	134	202	保護者や児童館の子どもによる模擬店、東部まち美化によるゲームコーナー、アーティストさんの工作コーナー設け、「児童館まつり」を実施した。	地域の児童館として地域の人と共にこどもの成長を見守っていただけの場となった。
プールウィーク	4	4	5	113	4	54	6	4	0	8	4	202	202	夏休み中、親子で安全に水遊びができる場所の提供。	熱中症対策を徹底する。
合 計		434	32	161	19	64	16	430	0	39	5	1200			
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等	件数	
	乳児	21	児童館にて直接受理				271	健全育成問題				0	児童相談所		
	幼児	37	児童相談所				0	家庭養育問題				40	保健所		
	小1～3年(自由来館)	28	保健所				1	成長・発達問題				74	子ども支援センター	1	
小1～3年(学童)	130	子ども支援センター				0	教育問題				6	幼稚園・保育園	40		
小4～6年(自由来館)	24	主任児童委員				0	非行・問題行動				11	小学校	27		
小4～6年(学童)	36	その他				9	その他				152	中学校	3		
中学生	4	放課後等デイサービス										総合支援学校			
高校生	1											その他			
件数 計	281	-				281	-				283	-	71		
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数		活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容				成 果 と 課 題			
	楽只児童館親の会	50		秋に行われる「ふれあい児童館まつり」など児童館の各行事を開催するにあたり活動、西舟岡町通りの安全安心を推進する取り組みを開催する。				当日ボランティア参加依頼、ワークショップ参加など				参加していただく過程が定着してきているが固定になりつつあるのでたくさんの保護者の方にご協力いただけるように声掛けが必要。			
推進活動	活動名	実施回数		活 動 内 容				成 果 と 課 題							
	楽ちゃんカード 各おたより発行 楽只児童館のしおり	毎年 12回×3部 1回(毎年度)		一般来館へむけてしおりを発行。緊急連絡先など保護者に記入してもらい児童館へ提出。 児童館、学童、ひよこおたよりを毎月発行(各機関、保護者へ配布。) 新1年生保護者、その他保護者に児童館の紹介・案内のしおりを配布。				保護者や地域の方々に児童館の行事や児童館での子どもの様子がわかるように文書だけでなく写真をつけ活動報告。また必要な情報を提供していける表面になるように努めていく。							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	福祉	基本	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
地域	福祉	基本	楽ちゃんキッズ デリ	4				40	3	14	5	26	88	NPO法人くらしネット21、まのあ、解放同盟、一般社団法人HAPS	元楽只小学校が実践してきた配食事業を児童館が引き継ぐ形で実施した。配食事業を通して、地域の方とつながりが持つことが出来たとともに、子どもたちが地域のことを知ることにもつながった。今後も地域とのかかわりを継続していきたい。
			ふれあい児童館まつり	1		15	27	11	13	6	8	44	124	楽只社会福祉協議会、NPO法人くらしネット21、一般社団法人HAPS	保護者や地域の方と協力して模擬店を出したり、複合施設のアーティストに協力してもらいワークコーナーを設け、たくさんの方に来てもらえた。保護者だけでなく地域に向けて児童館を知っていただく機会となった。より多くの方に参加していただくために広報を工夫していく必要がある。
			なかよし夏あそび	1		22	0	37	2	4	2	6	73	楽只保育所	保育所の年長さんや近隣の乳幼児親子へ参加を呼びかけ、小学生が輪投げや魚釣りコーナーなどを企画・運営して交流を深めた。子どもたちが企画・運営することで自主性や達成感などを養うことにもつながった。
			合計		—	37	27	88	18	24	15	76	285		
			活動内容			活動人数				4					
地域	福祉	基本	児童館ふれあいまつり			6	10	10	26	多くの大学生のボランティアも参加があり、児童館の様子や児童館に関わる子どもたちの様子を見ることにつながった。中学生の参加する姿が見られたが、学童クラブの卒業生を中心とした中学生がメインとなるブースを設置するなどの中学生を呼び込む工夫をしていく必要がある。					
			若狭の海へ行こう			7	20	27	小学1年生から小学6年生まで多数の参加があったが、佛教大学の大学生に多数ボランティアに来ていただいたことで、大きな事故等なく無事に帰って来ることが出来た。また、学童クラブの卒業生である中学生も参加があり、小学生を見守るお兄ちゃん・お姉ちゃんとして行動してくれていた。						
			楽ちゃんキッズ デリ				5	26	31	元楽只小学校の校長先生をはじめとする地域の小中学校の歴代の教員の参加もあり、大学生が当時の地域の人権教育について学ぶことにもつながった。大学生が学んだことを伝える場などの活躍できる場をもっと設定していく必要がある。					
			なかよし夏あそび			2	3	1	6	佛教大学の平田教授ゼミの大学生に科学あそびブースを担ってもらい、新たな大学生とのつながりを持つことにつながった。また、大学生による読み聞かせコーナーを設置することで、教員や保育士脂肪の大学生の経験にもつながった。新たな大学生に継続して関わってもらうように児童館の魅力を伝えていく。					
			合計			15	38	37	90						
地域	福祉	基本	連 携 団 体 等	連 携 内 容						成 果 と 課 題					
			楽只社会福祉協議会 民生児童委員・京都市楽只保育所 ライトハウス・あいあい教室 まのあ 佛教大学 紫野小学校運営協議会 一般社団法人HAPS 北はぐくみ室 ツラッティ千本 NPOくらしネット 21 金閣・紫野・鷹峯・大宮・衣笠 椋野小学校・北総合支援学校 北区社会福祉協議会	児童館ふれあいまつり、楽ちゃんkidsDELIなど、研修おたより交換、なかよし夏あそび、ラッコ広場、各共催事業など視覚に障がいのある児童への支援方法についての研修など介助・あそびのボランティア派遣、教育実習、大学見学館長が参加、関係機関との連携紙漉き体験、アトリエ見学など気になるご家庭の情報共有、支援方法について相談人権教育、地域についての理解を深める資料見学などひとり親家庭の学習支援や家庭支援における連携など毎月のおたよりの交換、各児童の情報交換を通しての連携毎月のおたよりの交換、各児童の情報交換を通しての連携						今年度も多くの団体と連携しながら子どもたちを見守り、育んでいくことができた。しかし、学童クラブの卒館生をはじめとする中学生を対象とした行事・事業の設定が不十分であるため、今後はより各団体と連携していき、中学生向けの事業を考えていく必要がある。  各学校と気になる子どもの様子の情報共有を実施し、子どもがより過ごしやすいため環境づくりに努めた。長期休暇の前には、子どもの情報を共有することで、長期休暇でも継続した支援を実施することが出来たので、今後も情報共有をしていく必要がある。					

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度		議題/取組内容		成果と課題		
			楽只児童館運営委員 ミニ楽只児童館運営委員会 児童館ボランティア、アルバイト会議 保育所・民生児童委員MT ふれあい共生館施設連絡会		運営委員長、運営委員、館長、副館長、職員 運営委員長、運営委員、館長、副館長、主任児童厚生員 ボランティア学生、職員館長、副館長、運営委員 楽只学区民生委員児童委員会、楽只保育所 北いきセン、ツラッティ千本、HAPS、天オアート		年2回 (臨時で必要であれば開催) 月1回 月1回、各行事前等 年6回程度 月1回		楽只児童館の運営について年間行事報告、決算報告 楽只児童館の運営・季節行事など 会場を必要とする児童とのかかわり方、行事の打合せ、子どもの情報共有など 気になる子どもの情報共有、行事共有、園庭共有など 施設連絡会		運営委員会のメンバーシップを絞った形で月1度ミニ運営委員会を実施することで、日常の児童館の運営や行事を細かく確認することができた。ふれあい共生館の施設連絡会を実施することで、各団体の行事を把握でき、連携することにもつながった。学生ボランティアの人数も多く、ボランティアのミーティングで全員が集まるようなものを実施出来なかった。気になる子どもの情報共有等の活動するうえで知っておいてもらいたいことを全員が確認できるような工夫が必要である。		
	推進活動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題				
クールキッズステーション			節電・エコの発想で児童館をアピール				全市児童館で実施されているものであるが自館の独自性を打ち出し実行のあるものにした。						
推進活動	(6) 地域調査活動	調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法		成果と課題	

( 2024 ) 年度

## 児童館事業年間活動報告書

( 楽只 ) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	毎月	利用者、地域住民、各関係機関、各関係学校、ボランティア、運営委員	うえぶさくら・ホームページ・北はぐくみだより掲載、利用者・ボランティアへの手渡し、関係小学校・運営委員会での配布、地下道掲示など	その月の事業内容、前月の活動報告	行事等の内容、宣伝だけでなく活動報告を充実させた結果、保護者も子ども達も話の弾む紙面になった。掲示分は拡大をして広報する。これからは子どもたちにも見やすく楽しい紙面になるよう努める。
	学童クラブだより	毎月	利用者、運営委員、各関係学校、ボランティア	うえぶさくら掲載、登録児童家庭・運営委員・関係学校などへの配布	その月の事業内容、啓発、活動内容写真	カラー刷りの活動報告を添付し、保護者の方にも行事の内容や子どもたちの表情を手にとってみていただけるようになっている。季節の行事についての説明などをおたよりを通じて興味をもってもらう。伴って成果もあげていく。
	幼児クラブだより	毎月	利用者、保育所、各関係機関	登録幼児家庭への手渡し、北区はぐくみだより掲載	その月の事業内容、活動報告など	人通りがあるので明るく季節の飾りと共に主に乳幼児親子対象の事業の活動を掲示した。掲示板をみて訪ねて来る乳幼児親子が増えた
	西船岡通り掲示板	毎月	利用者、地域住民	人通りの多い掲示板に、掲示	行事内容、季節の飾りなど	児童館を利用したことのない地域の方が掲示板の前を通りかかった際に、掲示物を見る姿があり実際に問い合わせや利用に繋がっている。
	おりがみ広場活動報告	毎月	利用者・地域住民	地下道掲示板や館内に掲示	季節の折紙作品、イラストなど	保護者と子どもの話が弾んだり、地域住民との会話のきっかけになった。
	その他各行事のポスター・チラシ	随時	利用者・地域住民・ボランティア	館外、館内に掲示	行事内容、募集など	参加してみたい・手に取ってみたいと思える紙面にすることや、申し込み方法などに誤解が生じないように分かりやすい文面を掲載するよう心掛けた。
	楽只児童館のしおり	年度初め	新入館生の保護者 学児童の保護者	在 各学校半日入学や就学前検診の日に依頼して配布	児童館、学童クラブの紹介、活動内容など	学童クラブの流れや年間行事などを記載して保護者の方に説明。
	自由来館へのしおり	随時	自由来館者	自由来館児童に手渡し、学校を通じて保護者へ	施設の紹介、利用の仕方など	自由来館児童保護者向けのしおり。緊急連絡先などの把握にも利用。
	夏休みのしおり	夏休み前	学童クラブ保護者	うえぶさくら	夏休みの過ごし方や行事の内容など	夏休み前に子どもから保護者に配布。夏の生活は普段と異なるので保護者の方に理解していただくことができ良い。
	ボランティア登録案内	随時	ボランティア希望者	ボランティア希望者ミーティング	児童館の活動内容、楽只児童館の特性などパワーポイントを使って大学の授業に公募に行ったり、ミーティングを持って介助対象児童へのかかわりを深める内容	介助ボランティア育成他、協力につながっている。公募により興味のある学生さんがたくさん児童館見学に参加してくれて子どもたちと関わりを持ってきている。